

シティオーケストラ



「チャレンジする人を応援する鶴ヶ島に」議員が直接取材！ 市民・団体インタビュー

前代表の「この町にも自分たちのオーケストラを」の想いで活動を続けている鶴ヶ島シティオーケストラ。

令和6年10月23日(水)に、活動状況や市に対する思いなどをお伺いしました。

日頃の活動から

練習は、主に南市民センターで毎週日曜日の夜7時から9時半まで行っています。団員は、中学生から70歳代までの幅広い年齢の約50人で活動しています。現在は、5月のさわやかコンサートや12月の定期演奏会をウェスタ川越か坂戸市文化会館で定期的に開催しています。また、夏には南市民センターでファミリーコンサートを行い、親子連れなど多くの市民の皆様楽しんでいただいています。たくさんの方に聞いていただくことが何よりの喜びですので、入場料はいただいております。ぜひ、お誘いあわせの上ご来場ください。

南市民センター移転にあたり

南市民センターが移転し、新しい施設ができる予定ですが、防音

たくさんの方に聞いていただくことが何よりの喜びです

設備や一部大型楽器を収納できる倉庫などが整備されるのにか心配です。また、現在は夜間に音出しができる施設が限られているので、他の市民センターでの練習も難しいです。長年、鶴ヶ島市で活動を続け、40年以上かけてここまで成長してきました。何とか今までどおりの活動ができる施設になってほしいです。



定期演奏会に向け練習にも熱が入ります

門戸を開いて

いろいろな楽器の奏者が必要という、オーケストラの特性上、多くの人で演奏するため、市外の団員もいます。団員の過半数が市内に在住・在勤・在学でないため、定期利用団体として登録、施設の予約ができません。将来を考え、他自治体と連携し、要件を緩和するなどもっと門戸を開いてほしいです。また、市民センターの施設予約をインターネットですべてですが、利用料の支払いのために市民センターに行かなければなりません。利用時に支払うなどより簡単な方法にしてほしいです。

○シティオーケストラの歴史

- 昭和56年5月 かわつる合奏団 発足
- 昭和57年 鶴ヶ島室内合奏団に改名
- 平成3年 鶴ヶ島シティオーケストラに!

取材メモ

「沢山の方にきていただきたい」との思いに胸を打たれました。市内には、音出しができる施設が少ないとのこと。市民活動が活発にできるよう議会では何が考えなければと頑張ります！ (小林)



発行 鶴ヶ島市議会

発行責任者 大野洋子(議長)

編集 広報広聴委員会

(委員長) 小林ひとみ

(副委員長) 今野雄一

(委員) 太田忠芳 小川 茂 村上信吉
福島恵美 高篠雅洋 内野嘉広

編集後記 二次元コードをご活用ください!

市民の方の声をもっと積極的に伺い、市議会できていることをもっとわかりやすく市民の方にお伝えするよう、市議会だよりのリニューアルを重ねています。できるだけ豊富な情報をお伝えしたいのですが、読みやすい紙面にすると情報量は少なってしまうのが悩ましいです。紙面の各所にある二次元コードにぜひアクセスしてみてください。ご意見やご感想をお寄せいただくと嬉しいです。(福島)